

熊本県 熊本市

中島 和久（都市建設部）



担当業務の内容

私は、平成28年6月14日から21日まで、東京都を通じての職員派遣で、熊本地震で被害を受けた熊本市に行っていました。主な担当支援内容は以下のとおりです。

○ 熊本市において、被災証明発行のための被害認定調査（1次）の結果を受けて、申請に基づき実施する、被害認定調査（2次）を行いました。（主に熊本市中央区）

1次調査では、件数も多いことから（熊本市で約8万件）、屋根と壁（基礎含む）の外観のみで判定していますが、2次調査では、それに加えて、柱、天井、内壁、建具、床、設備など建物内部に入って調査しました。

（所要時間 3～4人の班で回り、1件あたり、30分～1時間程度）

苦労したこと・工夫したこと

調査は、1日あたり、午前中3件、午後3件の計6件ほど行いましたが、30℃を越える暑さの日もあれば、梅雨の時期でしたので、雨の日もあり、外での作業で苦労しました。また、避難をされていて、家の中が地震後そのままになっている家屋もあり、中を移動するのにも一苦労なところもありました。

印象的なエピソード

建物の傾きがみられた建物では中に立ってみると傾きを感じるほど、違和感がありましたので、住んでいる方は不安だろうと思いました。本来の目的とは違うのですが、2次調査の依頼をされた方で、自宅がこのまま住んでいても大丈夫なのかを見て欲しいこともあって、調査を申請したという方もいらっしゃいました。そういったこともあり、よく来てくれたと喜ばれ、また、東京の稲城市から支援で来ていることを話すと、遠方からありがとうございますと感謝の言葉をいただき、やりがいを感じながら調査ができました。

所感

私が九州出身ということもあり、熊本地震で何かできないかと思っていたところ、この派遣の話があり、熊本に行かせていただきました。実際に現地で建物の中をみると、壁や天井など内部の損傷が激しい家屋が多くみられ、思っていた以上に被害が大きいのだと感じました。

最後に、熊本のみなさんは復興にむけて前向きな方が多く、その面では安心しました。写真の熊本城をはじめ、建物やインフラなど大きな被害を受けておりますので、復興には時間と労力がかかるとは思います。一日も早い復興と被災者の方々のご健康をお祈り申し上げます。